

平成 25 年度 事務事業マネジメントシート [事後評価]

| 会計 | 款 | 項 | 目 | 事業コード | 事業名 |
|----|----|----|----|-------|-----------------|
| 一般 | 10 | 06 | 01 | 0406 | スポーツ大会・合宿誘致推進事業 |

| | | | |
|------|---|-------------------------------|-----------------|
| 事業期間 | <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 | <input type="checkbox"/> 期間限定 | [平成 年度 ~ 平成 年度] |
|------|---|-------------------------------|-----------------|

《事業目的》
大規模なスポーツ大会やスポーツ合宿の誘致 及び 平成28年の国体開催に向けた選手の育成強化。

《事業開始の背景》
スポーツでまちづくり構想の一貫として、交通条件やスポーツ施設の優位性を活かし、平成22年度からスポーツ大会や合宿等の誘致を行ってきた。

《事業概要》
平成23年2月14日に『はなまきスポーツコンベンションビューロー』を設置した。
はなまきスポーツコンベンションビューローによる活動
①競技団体や学生体育会等に対する情報発信（インターネット、パンフレット作成）
②各種大会等の開催支援
③各種大会等の誘致

市民参画の有無 [対象外]

《事業展開の留意事項》

《成果指標》

| 項目 | 単位 | 区分 | 24年度(実績) | 25年度(実績) | 26年度(計画) |
|-----------------|----|----|----------|----------|----------|
| ① 全国大会による交流人口の数 | 人 | 目標 | 9,500 | 10,000 | 150,000 |
| | | 実績 | 116,600 | 10,517 | |
| ② 大規模大会による交流人口数 | 人 | 目標 | 144,900 | 150,000 | |
| | | 実績 | 146,234 | 180,967 | |
| ③ | | 目標 | | | |
| | | 実績 | | | |

| 分野 | 担当部(機関) | 担当課(機関) | 担当係長 | (内線) |
|------|---------|---------|------|------|
| 人づくり | 生涯学習部 | スポーツ振興課 | 高橋宏明 | 293 |

| 事業費 | 25年度 | 当初(現計) | 補正 | 25年度 | 26年度 |
|-------|-------|--------|----|------|------|
| 財源内訳 | 9,495 | | | | |
| 国庫支出金 | | | | | |
| 地方債 | | | | | |
| その他 | | | | | |
| 一般財源 | 9,495 | | | | |

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること

● はなまきスポーツコンベンションビューロー (平成24年度)

平成25年度

- ① コンベンションビューロー負担金 3,375千円 (内訳)
 - 大会誘致・支援活動 旅費、需用費、役務費、委託費など 2,175千円
 - スポーツイベント招致・観戦支援事業 (Bj、楽天、ハンド) 1,200千円
- ② (財)花巻市体育協会スポーツ大会・合宿誘致推進事業補助金 6,120千円 (内訳)
 - 推進員 2人 5,422千円
 - 社会保険料等 (共済費) 2人 590千円
 - 通勤手当 2人 108千円

スポーツ大会・合宿誘致推進事業 (総括表)

平成 25 年度 事務事業マネジメントシート [事後評価]

| 会計 | 款 | 項 | 目 | 事業コード | 事業名 |
|----|----|----|----|-------|-----------------|
| 一般 | 10 | 06 | 01 | 0406 | スポーツ大会・合宿誘致推進事業 |

| 総合計画 | 政策 | 地域で支える子育てと教育のまちづくり | 施策 | 競技・生涯スポーツの推進 |
|------|--|--------------------|-----|--------------|
| | 4 | | 4-3 | |
| 目的 | 大規模なスポーツ大会やスポーツ合宿の誘致 及び 平成28年の国体開催に向けた選手の育成強化。 | | | |
| 対象 | 市民、スポーツ大会主催者（競技団体）、学生体育会等 | | | |
| 意図 | 大規模なスポーツ大会やスポーツ合宿の誘致を推進することにより、交流人口の拡大と地域経済効果及び競技力の向上を図る。また、トップコーチ（アスリート）の招致等により、選手の育成強化を図る。 | | | |

《事業概要》…上記目的を実現するための事業手法を記載すること

平成23年2月14日に『はなまきスポーツコンベンションビューロー』を設置した。

はなまきスポーツコンベンションビューローによる活動

- ①競技団体や学生体育会等に対する情報発信（インターネット、パンフレット作成）
- ②各種大会等の開催支援
- ③各種大会等の誘致

市民参画の有無 [対象外]

| | | | |
|---------|--------------------------------|------------------------------------|----------------------------------|
| 市民協働の形態 | <input type="checkbox"/> 共催 | <input type="checkbox"/> 実行委員会・協議会 | <input type="checkbox"/> 事業協力・協定 |
| | <input type="checkbox"/> 後援・協賛 | <input type="checkbox"/> 補助・助成 | <input type="checkbox"/> 委託 |

| 活動指標（上記「事業概要」に対応） | 単位 | 区分 | 24年度(実績) | 25年度(実績) | 26年度(計画) |
|-------------------|----|----|----------|----------|----------|
| ① 全国規模のスポーツ大会誘致件数 | 件 | 計画 | 6 | 6 | |
| | | 実績 | 2 | 7 | |
| ② スポーツ合宿誘致件数 | 件 | 計画 | 6 | 6 | |
| | | 実績 | 4 | 2 | |
| ③ | | 計画 | | | |
| | | 実績 | | | |
| 成果指標（上記「意図」に対応） | 単位 | 区分 | 24年度(実績) | 25年度(実績) | 26年度(計画) |
| ① 全国大会による交流人口の数 | 人 | 目標 | 9,500 | 10,000 | |
| | | 実績 | 116,600 | 10,517 | |
| ② 大規模大会による交流人口数 | 人 | 目標 | 144,900 | 150,000 | |
| | | 実績 | 146,234 | 180,967 | |
| ③ | | 目標 | | | |
| | | 実績 | | | |

| 要因分析 | 達成度 | <input checked="" type="checkbox"/> 目標値より高い <input type="checkbox"/> 概ね目標値どおり <input type="checkbox"/> 目標値より低い |
|------|-----|--|
| | | |

《環境変化、意見・要望》…環境変化はないか？ 意見や要望が寄せられていないか？

スポーツ競技団体等から、大会を開催した場合の補助制度、会場の減免などについて制度化してほしいとの声がある。大会誘致に行くと、アネックスが出来た今でも、その分、大会を増やしている団体もあり、未だに調整会議でも体育館が使用できないとの意見が多い。

| 目的妥当性 | <p>公共関与の妥当性</p> <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない | 平成23年度施行の、スポーツ基本法の中で、競技水準の向上をさせるための支援等が定められており、また、交流人口の増加を図ることなどを目的とする、当市のスポーツツーリズムを推進しているため、市の関与は、妥当である。また、近年は、観光庁でもスポーツツーリズムを推進している。 |
|-------|---|--|
| 有効性 | <p>成果の向上余地</p> <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない | 全国的な、スポーツツーリズム等の活動に参画することにより、成果の向上が考えられる。さらに、スポーツコンベンションが行わなければならない事業と合致している。 |
| 効率性 | <p>事業費・人件費の削減余地</p> <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> どちらも削減余地がない | 現状では、人件費は必要最小限にしており、平成24年度から事業実施に向けての予算化を始めたばかりであるため、削減の余地は無い。 |
| 公平性 | <p>受益と負担の適正化余地</p> <input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適正である | 受益機会については、コンベンションビューローの各構成団体に声をかけ、さらに他団体にも参加を促しており、適正である。費用負担については、現段階では、構成団体そのものには、あまりメリットは発生しない団体が多く、費用負担を求めることは出来ない。 |

《総合評価》…上記評価結果の総括

交流人口の拡大や地域経済への効果、競技力の向上を図るため、はなまきスポーツコンベンションビューローを設置し、インターネット等による情報発信や各種大会の誘致、開催支援を行った結果、スポーツ交流人口が14万人を超えるなど成果があった。

全国大会の誘致については、2～3年以上前に決定されることがほとんどである。

- 平成25年度実績は、
- ・日本リーグ等プロスポーツ興行（4種目、5回。バスケ、イースタン、ハンド×2、バドミントン）
 - ・全日本大会（7大会。ハンド、ソフトボール、野球、フットサル、クレー、剣道、卓球）
 - ・合宿（2大学。ボート、アイスホッケー）

平成28年の岩手国体開催に向け、全国規模の大会の一層の誘致に努めていく。